

【鉾山・建設系分会ホームページ】

支部・分会名	東京支部 鉾山・建設系分会
分会長	柿原利之（開46）
事務局	岡田光志（開62）令和3年9月1日より
情報	1. 鉾山・建設系分会の概要について 2. 平成31年度・令和元年度以降の行事ならびに報告。 ●分会等行事の開催のご案内・報告、幹事の会報告 ●九州工業大学建設系同窓会について ●分会役員名簿 ●お問い合わせ・連絡先 <p style="text-align: right;">（令和3年11月1日更新）</p>

**鉾山・建設系分会は、我が国の市民生活・経済産業活動を支える
社会資本の整備に取り組む建設技術者の集まりです。**

1. 鉾山・建設系分会の概要について

鉾山・建設系分会は一般社団法人明専会の支部の一つ（在京の他の5分会と一体となって東京支部を構成して、連携をとっています）で、下記の、我が国の市民生活・経済産業活動を支える社会資本の整備に取り組む建設技術者の集まりです。

○明治専門学校創設以来の伝統を誇る鉾山工学科（採炭科、採炭工学科を含む）および昭和37年に改組された開発土木工学科、設計生産工学科（建設工学コース）、建設社会工学科を卒業及び同系の大学院を修了した者（下表参照）

○東京都、千葉・神奈川・埼玉の各県及びその近郊に勤務及び在住されている者
現在の会員（連絡先が確認されている方）は、昭和14年度の卒業生から平成30年度まで、約320名を数え、会員相互の交流と親睦を図り、東京支部や母校と連携して、学生育成の支援に努め母校の発展に寄与していくことを目的に活動を進めております。

分会の主な定期的な活動は、①年次総会及び新人歓迎会、②春と秋の講演会、③年数回の幹事会及び東京支部主催の各種のイベントへの参加・協力です。

最近では、会員の皆様方のご協力もあり、これらの活動への参加会員数が20名を越えるようになり、長年の悲願：参加者数20名の壁の突破することが出来ました。

さらに参加者を30名（会員の約10%）に近づけることと、平成年代の若手、女性会員の分会活動への積極的な参画を図ることを、当面の目標として努力致しております。

(参考)

鉾山・建設系学科の沿革

1907 (明治40) 年	私立明治専門学校設立許可
1909 (明治42) 年	私立明治専門学校 (4年制) 開校 採鉱学科 設置
1921 (大正10) 年	官立移管 鉾山工学科 改称
1938 (昭和13) 年	採炭工学科 増設
1944 (昭和19) 年	明治工業専門学校 (3年制) 改称 採鉱科 改称
1946 (昭和21) 年	採鉱科鉾山分科・採鉱科土木分科 設置
1949 (昭和24) 年	九州工業大学 設置 (5月31日) 鉾山工学科 設置 明治工業専門学校を包括
1964 (昭和39) 年	開発土木工学科 改組
1988 (昭和63) 年	設計生産工学科 建設工学コース 改組
1997 (平成09) 年	建設社会工学科 設置
2008 (平成20) 年	建設社会工学科に 建築学コース 設置
2010 (平成22) 年	建築学コース 学生受入開始
2012 (平成24) 年	建築学コース 第1期生卒業

2. 平成31年度・令和元年度以降の行事ならびに報告。

分会および東京支部では、平成31年度（5月から元号が変更されます）は、下記の行事を予定して、会員皆様方との交流を期待しております。

なお、各行事の詳細については、決定次第にその都度、下記『3. 分会等行事のご案内』において、ご案内いたします。

平成31・令和元年度分会行事予定表

開催予定月日	行 事 名 等	備 考
1月26日（土）	東京支部・鳳龍クラブ新年会	東京支部行事
2月 9日（土）	第4回利き酒会	東京支部行事
2月16日（土）	明トラ大会（第14回；分会対抗）	東京支部行事
3月13日（水）	幹事会	
3月16日（土）	明専会社員総会・支部長会議	明専会本部行事
4月20日（土）	東京支部春季講演会	東京支部行事
5月25日（土）	明トラ大会（第15回）	東京支部行事
6月15日（土）	分会総会・春季講演会・新人歓迎会	
7月 6日（土）	関東地区新人歓迎会	東京支部行事
8月24日（土）	明トラ大会（第16回；分会対抗）	東京支部行事
9月 上旬	幹事会	
10月 5日（土）	東京支部秋季講演会	東京支部行事
11月 9日（土）	分会秋季講演会・懇親会	
11月30日（土）	明トラ大会（第17回）	東京支部行事
12月18日（土）	東京支部役員会・忘年会	東京支部行事
1月 下旬	幹事会	

注) 上記の他、東京支部行事として、

「東京企画委員会」が毎月第3水曜日、

「鳳龍クラブ運営委員会・東京支部役員会」が隔月で第3水曜日に開催。

●分会等行事の開催のご案内・報告

- (1) 6月15日(土)に令和元年度総会・春季講演会・新人歓迎会を開催致します
平成31年度総会・春季講演会・新人歓迎会を下記により開催致します。
総会後の春季講演会の講師には、母校の鬼束(設建H4)教授をお迎え致します。
学科の近況や先生が長年取り組んでこられた研究「魚のすみやすい川づくり」について
興味深いお話を御願ひしております。
会員の皆様、多数のご参加をお待ちしております。

令和元年度総会・春季講演会・新人歓迎会

開催日時	令和元年 6月 15日(土) 11:00~14:00
開催場所	明専会東京センター・九州工大鳳龍クラブ(新橋) 電話: 03-3572-2009
行事予定	総 会 11:00~11:30 講 演 会 11:30~12:30 演 題 : 学科の近況と 研究内容(魚のすみやすい川づくり)について 講 師 : 九州工業大学教授 鬼束 幸樹 氏(設建H4) (講演の要旨、講師略歴を下段に掲載しています) 新人歓迎会 12:30~14:00 新人歓迎会会費 4,000円(当日ご持参下さい) なお、新人会員は1,000円 若手(35才以下)及び女性会員は2,000円

春季講演会のご案内

演 題 :	学科の近況と 研究内容(魚のすみやすい川づくり)について
講 師 :	九州工業大学大学院教授 鬼束 幸樹 氏(設建H4)

講演の要旨

学科の近況として、退職(佐久間先生)および新任教員(趙先生)を紹介いたします。近年の学科の活動(海外派遣、海外からの招聘、国際セミナー(KMKセミナー)など)を紹介いたします。また、入試の変更内容(AO入試の30%拡充)、就職状況などを紹介いたします。昨年度の明専塾(役所などの公的機関)の活動状況を報告いたします。

魚のすみやすい川づくりの一環として、PHABSIMを用いたアユの産卵に適した物理環境の予測方法とそれに基づいた河道設計および魚の遡上に適した魚道の幾何学形状の把握について講演いたします。

講師の略歴

- 1970年 神奈川県川崎市出身
- 1988年 福岡県立宗像高校 卒業
- 1992年 九州工業大学工学部設計生産工学科建設コース 卒業
- 1994年 九州工業大学大学院工学研究科博士前期課程設計生産工学専攻 修了
- 1997年 九州工業大学大学院工学研究科博士後期課程設計生産工学専攻 修了
- 1997年 京都大学大学院工学研究科環境地球工学専攻助手
- 2002年 九州工業大学工学部助手
- 2003年 九州工業大学工学部助教授
- 2017年 九州工業大学大学院教授

会員各位宛には、案内状やメールでご連絡済みです。
同封の返信用ハガキでご連絡ください。

●分会等行事の結果のご報告

(1) 平成30年度第7回幹事会のご報告

鉾山・建設系分会 幹事会（平成30年度第7回） 議事録

- ・日 時：平成30年12月 7日(金) 18:30～19:30
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：来年度の年間行事予定、春季・秋季講演会の講師候補等について
- ・資 料：幹事会議題
- ・出席者：柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎、幸田（7名）

議事 1. 来年度の年間行事予定について

下記のとおり決定した（なお、総会等は、既にダブルで予約済みの他行事との調整を待つ）。

○総会・春季講演会・新社会人歓迎会 ; 06/01 或いは06/15

(12/13、鳳龍クラブから06/15に決定との連絡あり)

○秋季講演会 ; 11/09

議事 2. 春季・秋季講演会の講師候補等について

下記のとおり決定した。

○春季講演会 ; 母校の教授に御願ひすることとし、分会長から御願ひする。

○秋季講演会 ; 鋼材関係に洞察の深い同窓生に御願ひすることとし、人選を幸田幹事に一任する。

議事 3. 分会幹事の役割分担について

来春まで現行どおりとし、新年度に再度協議する。

(以 上)

(2) 平成31年度第1回幹事会のご報告

鉾山・建設系分会 幹事会 (平成31年度第1回) 議事録

- ・日 時 : 平成31年 3月13日 (水) 18:30~20:30
- ・場 所 : 明専会東京センター/九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事 : 総会等資料の送付作業、今後の案内状送付、幹事顧問制度、幹事役割分担
- ・資 料 : 分会総会・講演会・新人歓迎会および東京支部講演会案内状
- ・出席者 : 柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎 (6名)

作業 1. 分会総会・講演会・新人歓迎会および東京支部講演会案内状の発送
上記案内状273通を封書詰めの上、別途、発送
幹事長より、後日、メールアドレス届者宛、メール配信する。

議事 1. 分会総会・講演会・新人歓迎会および東京支部講演会案内の発送について
毎回、200通を超える案内状を送付しているが、複数回に渡り返信が無い方も多い。
経費節約、作業手間の削減のため、複数回返信の無い方への案内状送付は取り止め、
メールによる案内だけで良いのではないかと。具体的な内容を、今後、検討することとした。

議事 2. 顧問制度について
分会長経験者を始め、分会の活動に貢献された方を対象とした顧問制度について
今後、検討することとした。

議事 3. 分会幹事の役割分担について
分会ホームページ担当を江崎、書記 (議事録作成担当) を岡田に変更する。

(以 上)

(3) 令和元年度 鉦山・建設系分会 総会・春季講演会・新人歓迎会 議事録

- ・日 時：令和元年 6月15(土) 11:00～14:30
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・出席者：24名（別表に参加者を掲載）
- ・資 料：鉦山・建設系分会 2019年度 総会資料

分会長挨拶

- ・鬼東先生の遠路ご出席とご講演に謝意。
- ・また、雨が降るあいにくの天候の中、参加者各位に謝意。
- ・本会を会員交流の有意義な1日としてほしい。
- ・昨年から分会の総会、講演会の出席者が25名を超えて盛況となっており、この状況が続けていきたい。
- ・今や平成年度の卒業生が7割を超えている。平成年度の卒業生の参加を増やすことが分会の盛会につながるので、引き続き取り組みを続けたい。
- ・今年度から終身会員制度が設けられた。総会参加補助を含めてメリットがあるので、制度利用をご検討いただきたく。

1. 総 会 11:00～11:35

分会長が議長につき、資料により審議を進め、下記のように議決された。

議案1. 2018年度 活動報告平及び会計報告・会計監査報告について
原案どおり承認された。

議案2. 2019年度 活動計画（案）及び収支計画（案）について
原案どおり承認された。

議案3. 明専会終身会員について
議長より制度の説明。質疑無し。

議案4. 鳳龍クラブ賛助会員について
議長より現状の説明。質疑無し。

議案5. 幹事の顧問化について
原案通り承認された。

議案6. 総会等案内の郵送について
原案通り承認された。

議案7. 企業幹事のお願い
議長より現状と対応の説明。質疑無し。

2. 春季講演会 11:35～12:55

母校から鬼束先生をお迎えして春の講演会を行った。

演題：「学科の近況と研究内容（魚のすみやすい川づくり）について」

講師：九州工業大学大学院 教授 鬼束 幸樹誠 氏（設建H4）

講演の概要は以下のとおりである。

- ・学科の近況として、退職および新任教員をご紹介いただいた。
- ・近年の学科の活動について、海外派遣、海外からの招聘、国際セミナー（KMK セミナー）をご紹介いただいた。近年は、海外交流が活発になっているとのこと。
- ・入試の変更内容、就職状況などをご紹介いただいた。特に、AO入試を30%拡充する等の動きもあること、また、最近では、受験者の偏差値も上昇して狭き門となっていること、地元福岡県外からの学生も増えていることをご説明いただいた。
- ・明専塾は昨年度地方公務員、今年度はゼネコンが担当であること、九州工大技術士会の活動もご紹介いただいた。
- ・魚のすみやすい川づくりの一環として、河道設計及び魚の遡上に適した魚道の幾何学形状の把握、PHABSIMを用いたアユの産卵に適した物理環境の予測方法をご紹介いただく。
- ・河川整備事業において、多自然型の川づくりが求められるなど環境配慮が重視されていること、事業の利害関係者（特に漁業組合）への理解を得るために求められていることをご説明いただいた。

先生のご講演の後、真柴幹事長（設建H08）の進行で、学科の近況や先生の研究内容に関して、活発な質疑応答が行われた。

3. 懇親会 13:00～16:00

- ・幸田幹事（設建H16）の進行で懇談会を行った（今年度は新社会人の参加は無し）。
- ・柿原会長（開46）の挨拶により懇親会を開始した。
- ・初参加者（2名）の挨拶の後、参加者が全員、着席順に抱負・近況等を披瀝し会話も弾み、懇親を深めた。
- ・懇親会が盛り上がり予定の時間を超過したが、加藤さん（開41）の挨拶で中締めとした。

2019年度総会 出席者名簿（19名）

卒業年	お名前	備考	卒業年	お名前	備考
設建 H04	鬼東 幸樹	講師	開 50	樋口 孝憲	
鉦 31	日隈 證		開 51	小郷 政弘	会計
開 41	足立 二雄	幹事	開 61	井上 博士	
開 41	加藤 武		開 62	岡田 光志	幹事
開 41	西岡 康博		開 H01	江崎 純	幹事
開 43	原田 昌秀		設 H08	真柴 浩	幹事長
開 46	柿原 利孝	分会長	設 H16	幸田 英司	幹事
開 46	時任 正人		設 H16	伊藤 浩介	初参加
開 48	森 康晴		設 H25	岩本 浩明	初参加
開 48	大石 幹和		—	—	

(以 上)



(4) 令和元年度(平成31年度) 第2回幹事会のご報告

- ・日 時：令和元年 6月15日(土) 16:00～16:30
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：次回以降の講演会の講師、幹事の顧問化、総会等案内の郵送、企業幹事
- ・出席者：柿原、真柴、足立、岡田、江崎(5名)

議事 1. 次回以降開催の講演会の講師について

1) 今年度の秋季講演会

- ・候補者に現在、打診中で6月20日頃に可否のご回答をいただく予定であることを確認した。

2) 来年度の春季講演会

- ・本日も講演のお礼方々、今年度の鬼東先生に相談する。
- ・最近、機会が少ない構造系、地盤系の先生も念頭におく。

議事 2. 幹事の顧問制度について

- ・今年度の総会で承認されたが、該当者は無いことを確認した。

議事 3. 総会等案内の郵送

- ・返信の無い方への郵送停止と、メールを主とした案内は今年度の総会で承認された。会員に対して周知が必要であることから、2回(今年度の次回の秋季講演会、来年度の総会・春季講演会)は郵送停止の案内を送付することを決定した。

議事 4. 企業幹事について

- ・今回の総会・春季講演会に不参加ではあったが、卒業生の多いゼネコン、コンサルタント、マリコン、メーカー等の所属者に対して働きかけを行うことを確認した。

(以

上)

●九州工業大学建設系同窓会について

鉾山・建設系分会では会員相互の交流、情報交換、そして懇親の場として春と秋に講演会を開催しています。

私たちが日頃取り組んでいる道路・港湾・空港・鉄道や河川の整備あるいはビル建築等の土木・建築の各種のプロジェクトは、どれ一つをとっても同じものではありません。各々のプロジェクトはそれを施工する環境において、過去の事例等を踏まえ、自然的条件・社会的条件・経済的条件等に最適な構造物が計画され、設計され、造り上げられていくのです。その過程では、最良の資材や建設機械等を組み合わせ、各分野の優秀な技術者の知見を結集して、最高の技術力を活かしていくことが求められます。

そして、優良な社会資本を市民の皆様の利用に供して、持続ある社会の発展のため、後世の人のためになる国の遺産を造り上げる仕事に取り組んでいるのです。

在学中に折に触れ、恩師から、建設工学は『経験工学』であり、建設技術者は『人を動かす』技術者であると諭された所以であります。

分会では、このような会員の皆様の日頃のお仕事に少しでもお役に立てることが出来たらと、年2回 一春の年次総会開催時と秋に一 講演会を開催して、母校の恩師や会員の皆様方から

- ①国土整備計画、地域開発計画、 ②まち造りの推進、 ③技術上の最新の課題、
- ④話題の大プロジェクトの概況、 ⑤会員の現場経験談

等に関する話題提供を頂き、参加者間での自由闊達な議論を展開しております。

会員の皆様多数の参加を頂いて、参加者相互の交流・懇親を深め、国土や地域社会のあり方、技術力の向上方策、プロジェクトの安全で効率的な完遂のための組織や人材の活用のあり方等を論じて、我が国の市民生活の向上、経済・産業の発展を支える社会資本の整備に責任を持つ建設技術者としての矜持を高めていって貰いたいと願っています。

鉾山・建設系分会 春・秋季講演会の実施状況

開催年月日	講師名 (敬称略)	演 題	参加者
22年 6月 5日(土)	加藤 武(開41)	海外建設工事の実情	12名
23年 6月 4日(土)	勝井秀博(開46)	英虞湾における水質浄化の取組 —浚渫土砂を用いた人工干潟の造成—	7
23年11月12日(土)	柿崎利孝(開46)	私の海外工事 国際建設技術協会 小沢海外功労賞を受賞して	9
24年 4月21日(土) (東京支部春季講演会)	安田 進(開45)	東京湾岸の住宅地を襲った液状化被害 :東日本大震災の特殊要因と復旧への問題点	20 (75)
24年 5月26日(土)	堀越公博(設建H08)	北九州市の河川事業の概要について	8
24年12月16日(土)	鶴田秀典(開42)	電気通信事業に携わって40年	8

25年 6月22日(土)	森 康晴(開48)	建設コンサルタント事業に携わって40年	10
25年12月 7日(土)	伊藤東洋男(開41)	二つの大震災に関係して思うこと	12
26年 6月 7日(土)	前野弘幸(開62)	ヒューマンエラーとの戦い	12
26年11月 8日(土)	幸佐賢二(開52)	東日本大震災による被害について	16
	竹田宣典(開57)	海水を利用したコンクリートへの挑戦	
27年 6月13日(土)	永瀬英生(開55)	液状化に関する研究の現状と課題について	18
27年11月14日(土)	重枝未玲(設建H10)	気候変動に適応した水災害に対する 防災・減災技術について	18
28年 6月18日(土)	佐久間治 (特別会員)	建築学コース概要及び 建築デザイン研究室の活動について	14
28年11月 2日(水)	ローカムサイ チンダー(建社H23)	目に見えない豊かさがあふれる国、 ラオスの紹介	11
29年 6月10日(土)	(講師の都合で中止、意見交換会に変更) 話 題:豊洲移転問題を建設技術者としてどう考えるか		15
29年10月14日(土)	高宮正英(開45)	第二名神 木曾揖斐プロジェクト -世界初の構造形式 複合エクストラード橋-	18
30年 6月 9日(土)	日比野誠(設建H06)	学科の近況とコン研の研究と思い出	25
30年 6月 9日(土)	村沢 譲 (開46)	地盤ひとすじ・半世紀	20
令和元年 6月15日(土)	鬼束幸樹(設建H04)	学科の近況と 研究内容(魚のすみやすい川づくり)について	21
令和元年11月 9日(土)	吉村重敏(開51)	地元歴史二題の発信「漢方医尾台榕堂と縄文火焰 型土器」 新潟県十日町市議会議員	22
令和2年6月13日(土) (東京支部春季講演会)	安田 進(開45)	新型コロナの影響により止む無く“秋季講演会”に延期とさせていただきます。	
令和2年11月 未定 (東京支部秋季講演会)	安田 進(開45)	(未定)	

※今後、新型コロナ禍の為、ご案内が HP または e-mail となることもございますので
ご容赦ください。

注) 講師名の中で太字は九州工業大学教授等

安田先生の講演の参加者：上段は分会、下段 () 内は支部全体

●建設系の同窓生は、隔年に、北九州に集まっています。

鉱山及び建設系の学部・大学院の卒業・修了者は、隔年に、学びの地・北九州に集い、親睦を深め、情報の交換を行っております。

平成5年11月に第1回同窓会が開催されて以来、最近では隔年に開催されており、平成30年で、12回目を数えております。毎回『建設系』の名の下に、全国各地から150名近くの同窓生が集い、旧交を温めております。

昨年(平成29年)の11月の第12回同窓会には、分会から10名近い会員が参加しました。

来年(平成30年)の11月には第13回同窓会が予定されています。分会員の皆様、多数、北九州へ駆けつけられることを期待しております。

鉦山・建設系分会 幹事会（令和2年度 第1回） 議事録

- ・日 時：令和2年 2月14日（金） 18：30～19：50
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：総会・春季講演会・新人歓迎会季講演会、その他
- ・資 料：鉦山・建設系分会 幹事会（令和2年度 第1回） 次第
- ・出席者：柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎（6名）

議事 1. 令和2年度の年間行事予定について

- ・本日の幹事会を含めて行事予定を確認した。

4月 4日（土）	幹事会（第2回 総会案内等の発送作業）
6月13日（土）	総会・春季講演会・新人歓迎会・懇親会 幹事会（第3回 秋季講演会の講師について、他）
9月	幹事会（講演会案内等の発送作業）→後日、日程調整
11月 7日（土）	秋季講演会・懇親会

議事 2. 総会・春季講演会・新人歓迎会及び東京支部講演会案内の発送について

1) 資料の作成、印刷等の担当の決定

- ・講師へのお願いと調整→柿原、真柴
- ・分会名簿の更新、送付部数の決定→真柴
- ・分会総会・講演会・新人歓迎会案内状の作成、印刷→真柴
- ・支部春季講演会案内状の印刷→足立
- ・出欠葉書の宛名、裏面印刷→江崎
- ・分会費振込票の準備→岡田（支部春季講演会案内状出力に変更）
- ・送付用封筒の宛名印刷→小郷

2) 分会総会・講演会・新人歓迎会資料の作成

- ・表紙、議事次第、総会審議等の資料については、メール等で内容確認を行うことを確認した。

議事 3. 寄稿文について

1) 掲載について

- ・第1回の依頼者（日隈さん）に幹事長から状況を確認する。
- ・第2回の依頼は、第1回寄稿者の紹介を含めて次回幹事会で検討する。
- ・寄稿文の掲載は四半期に1回更新するものとし、更新の都度、分会関係者にはメール等で告知することを確認した。

2) 寄稿文のテーマについて

- ・ 会員が興味を持って継続して読めるよう、テーマや内容について議論した。
- ・ 寄稿は技術者のあり方が中心になるため、テーマについては、「シビルエンジニア」を入れることを確認したが、その後の言葉（例えば、トラックチャート、矜持 等）は様々な意見があるため、次回幹事会で再度、議論する。

議事 4. その他

1) 鳳龍クラブ賛助会員への加入

- ・ 賛助会員が減少していること、分会の会計に余剰金の積み立てもあることから、当分会も賛助会員として加入することを幹事会で決定し、次回、総会で報告することを決定した。

2) 東京支部活動の連絡について

- ・ 現状、支部の運営員会は現在、会長と幹事長の2人で対応しているが、他分会は参加者が多い。
- ・ 支部活動の案内は幹事に送付されていないので、幹事長より支部事務局に幹事のメールアドレスを支部事務局に連絡する。
→ 2月17日に幹事長より支部事務局に送付、2月18日に支部事務局より受理の連絡有り。

3) 次期代議員について

- ・ 2年任期の次期代議員候補者は、今期同様（柿原、真柴、岡田の3名）とすることを確認した。

4) 企業幹事について

- ・ 卒業生が多い会社の関係者には、会長より打診した。
- ・ 企業幹事を通じて、総会、秋季講演会等行事への参加を働きかけることを確認した。

(以 上)

鉦山・建設系分会 幹事会（令和2年度 第2回） 議事録

- ・日 時：令和2年 8月 22日（土） 13：00～13：40
- ・場 所：Web会議（Z o o mによるオンライン開催）
- ・議 事：秋季講演会、その他
- ・資 料：鉦山・建設系分会 幹事会（令和2年度 第2回）議事次第、
秋季講演会の開催方法について
- ・出席者：柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎（6名）

議事 1. 東京支部の秋季講演会（10月3日（土）13:00～ 講師 九工大西田准教授 鳳龍クラブで開催）

- ・分会長より開催方法などを説明。
- ・鳳龍クラブの参加は人数が制限されているので、分会からは分会長、足立、岡田の3名で、他の方はZ o o mでの参加とする。

議事 2. 鉦山・建設系分会の秋季講演会（11月7日（土）予定）の開催について

- ・支部秋季講演会と同様に鳳龍クラブとZ o o mの併用開催、オンライン形式、中止または順延を含めて講師の安田先生に意向を確認した後に、開催及び方法を決定する。
- ・幹事長より安田先生に連絡をとり意向を確認する。

議事 3. 秋季講演会の準備、案内の発送作業について

- 1) 分会秋季講演会の準備
 - ・開催方法を決定した後、準備を進める。
 - ・鳳龍クラブで開催を行う場合は、支部の秋季講演会を参考に開催方法を検討する。
- 2) 案内の発送作業
 - ・支部秋季講演会の案内発送及び参加者とりまとめは、期限が迫っているので幹事長よりメールで先行して行う。
 - ・分会の案内発送は、郵送とメールで9月以降に行う。ただし、郵送の発送は、分会費の納入者や案内返信者のみを対象とし、従来の登録者全員から発送数を削減する。
 - ・分会費納入者と案内返信者はそれぞれ60名程度であり、幹事長と会計で照合を行う。

議事 4. 次回幹事会について

- ・鳳龍クラブで秋季講演会の案内発送作業等を行うものとし、9月中旬以降の開催で調整する。

議事 5. 昨年度報告、本年度計画について

- ・今年度は総会を中止したため、秋季講演会案内状と合わせて、会計報告等や承

認記入を送付し、分会員の承認を得るようにする。

議事 6. その他

1) 企業幹事について

- ・以前の幹事会で議論した企業幹事について、候補社（者）に働きかけを行うことを確認した。

鉦山・建設系分会 幹事会（令和2年度 第3回） 議事録

- ・日 時：令和2年 10月17日（土） 10：00～12：20
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：秋季講演会等資料の送付作業、その他
- ・資 料：秋季講演会案内状、令和元年度収支計算書及び令和2年度予算案、返信用葉書
- ・出席者：柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎（6名）

作業 1. 分会秋季講演会案内状等の発送

- ・上記案内状等89通を封書詰めの上、発送した。
- ・今年度はコロナ禍の影響で総会が開催できなかったため、令和元年度収支計算書及び令和2年度予算案を発送し、返信用葉書による審議で対応する。
- ・幹事長より、後日、メールアドレス届者宛、メール配信する。

議事 1. その他

1) 秋季講演会の対応

- ・秋季講演会における講演は、コロナウイルス感染予防のためオンラインで実施する。
- ・会員からの鳳龍クラブへの参加希望を確認後、当日の対応を決定する。

2) 寄稿文について

- ・寄稿文の表題をメールにて議論し、表題の決定後、第1回を西岡さんに依頼する。
- ・寄稿文は、A4版 2枚程度として分会HPから情報を発信する。
- ・第2回の依頼は次回幹事会で決定するものとし、寄稿文は四半期に1回更新する

(以 上)

2020年度 鉾山・建設系分会 秋季講演会 議事録

- ・日 時：令和2年 11月 7日(土) 13:00～15:10
(講演終了後のフリーディスカッションを含む)
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ及びZoomによるリモート開催
- ・出席者：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ7名 Web参加 22名 計 29名
- ・資 料：令和2年度鉾山建設秋季講演会.pdf, インストール用 zoom マニュアル.pdf,
11月7日嘉村記念賞.pdf, 11月7日台風19号.pdf, 参加者リスト.pdf
(事前にメール配信)

分会長挨拶

- ・本日、嘉村記念賞を受賞された安田先生にはご講演をお引き受けいただいたことに感謝。
- ・本日は、新型コロナウイルス感染予防のため、リモートを併用しての開催である。
- ・規矩先生には、明専会報のインタビューシリーズへの協力を依頼。
- ・分会のホームページにリレー形式で、「シリーズ：語り継ごう！技術は人なり」と題して寄稿文を掲載する。第1回目は日隈先輩に依頼。

1. 秋季講演会 13:10～14:50

**演題：地震や豪雨による地盤災害の防止に向けて、
2019年台風19号による関東での堤防被害と復旧の
講師：東京電気大学 名誉教授 安田進氏 (開45)**

講演の概要は以下のとおりである。

- ・九州工業大学の卒業研究で土質工学の研究を始めてから 50 年間に携わってきた、地震や豪雨による地盤災害、特に液状化に関して、発生メカニズムの解明や対策に関する研究や技術開発とその課題についてご講演いただいた。
- ・2019年台風19号による関東での豪雨災害に関して、河川堤防の被害に対して国土交通省関東地方整備局設置の技術委員会の委員長として対応を行ってきたが、その被害の状況や対策等についてもご講演をいただいた。

真柴幹事長(設建H08)の進行で、各演題終了後に質疑応答が行われた。調布の陥没事故を始めとした地盤に関する幅広い分野を対象に、活発な質疑応答が行われた。

2. フリーディスカッション 14:50～15:10

講演会終了後、質問に出た調布の陥没事故に関して、安田先生が現地踏査や既往の公表資料をもとに作成された資料を説明された。その後、残った参加者で調布の陥没事故を中心にフリーディスカッションを行い、技術論に花を咲かせるとともにオンラインで懇親を深めたフリーディスカッションの話題はつきなかつたが、予定の時間を超過したため、終了した。

フリーディスカッション後、短時間ではあったが、鳳龍クラブ参加者で意見交換を行い、懇親を深め16:00で終了した。



鳳龍クラブにおける開催状況

2020年度秋季講演会 出席者名簿（鳳龍クラブ7名+Zoom x リモート22名 計29名参加）

卒業年	お名前	備考	卒業年	お名前	備考
開 45	安田 進	講師 Web			
鳳龍クラブ参加者 7名					
鉦 31	日隈 證		開 51	小郷 政弘	会計
開 42	鶴田 秀典		開 62	岡田 光志	幹事
開 46	柿原 利孝	分会長	設 H08	真柴 浩	幹事長
開 50	樋口 孝憲				
Zoom リモート参加者 21名					
開 41	西岡 康博		開 61	井上 博士	
開 45	高宮 正英		開 62	大原 英史	
開 46	勝井 秀博		開 63	規矩 大義	
開 46	村沢 讓		開 63	塚田 誠	
開 47	十河 茂幸		開 H01	吉田 剛	
開 47	吉岡 民夫		開 H01	江崎 純	幹事
開 48	森 康晴		開 H03	阪井 泰造	
開 49	小澤 明		設 H04	畠中 千野	
開 49	三好 純一郎		設 H09	黒石 真一	
開 53	高木 実		設 H16	木内 大介	
開 58	山口 省吾				

(以 上)

鉦山・建設系分会 幹事会（令和3年度 第1回） 議事録（'21 2/5作成）

- ・日 時：令和 3年 1月 31日（日） 10：00 ～11：25
- ・場 所： Zoomによるリモート会議
- ・議 事：明専会報インタビュー、年間行事予定、総会・春季講演会等、その他
- ・資 料：鉦山・建設系分会 幹事会（令和 3 年度 第1回） 議事次第
明専会報インタビューシリーズ について（別紙1）
令和3年度の年間行事予定について（別紙2）
- ・出席者：柿原、真柴、足立、岡田、江崎（5名）

議事1. 明専 会報インタビューシリーズ について（別紙1）

- ・ 関東学院大学規矩学長へのインタビュー（令和3年7・8号に掲載予定）について
分会でインタビューの実施に向けて今後とも積極的に支援していくものとし、
手順、日程等確認した。
- ・ 今後、柿原、真柴、足立、岡田で対応する。

議事2. 令和3年度の年間行事予定について（別紙2）

- ・ 別紙2資料により支部と合わせて以下の行事予定を確認した。

3月 中旬 幹事会（第2回 総会案内等の発送作業）
4月17日（土） 東京支部 春季講演会・支部交流会
6月12日（土） 総会・春季講演会・新人歓迎会・懇親会
幹事会（第3回 秋季講演会の講師について、他）
9月下旬 幹事会（第4回 講演会案内等の発送作業）
10月2日（土） 東京支部 秋季講演会
11月上旬 秋季講演会・懇親会

議事3. 総会・春季講演会・新人歓迎会及び東京支部講演会案内の発送について

1) 講演会の講師

- ・ 春季講演会の講師は、寺町先生に打診する。

→2/1にご了承いただく。

- ・ 秋季講演会は、東亜建設工業を第一候補として関係者に打診する。

→2/1に候補者に内諾を得る。

2) 資料の作成、印刷 の分担

以下の分担を確認した。

- ・講師へのお願いと調整→柿原、真柴
- ・分会名簿の更新、送付部数の決定→真柴
- ・分会総会・講演会・新人歓迎会案内状の作成、印刷→岡田
- ・支部春季講演会案内状の印刷→足立
- ・出欠葉書の宛名、裏面印刷→江崎
- ・分会費振込票の準備、送付用封筒の宛名印刷→小郷

3) 分会総会・講演会・新人歓迎会資料の作成

- ・表紙、議事次第、総会審議等の資料については、分会長、幹事、会計、会計監査、で対応し、メール等で内容確認を行うことを確認した。

議事 4. 寄稿文について

- ・第1回については、打診を行なっている日隈さんへ幹事長より執筆の再確認を行う。
(難しい場合は、足立さんをお願いする。)
- ・寄稿文の掲載は四半期に1回更新し、分会関係者にメール等で告知する。
- ・テーマは『シリーズ：語り継ごう！技術は人なり』で良いことを確認した。

議題 5. その他

1) 鳳龍クラブ賛助会員への加入

- ・今年度も継続加入をすることを確認した。

2) 企業幹事について

- ・ピーエス三菱関係者にはご了解いただく。
- ・他社についても分会役員経験者を通じて打診する。

3) 明専会報のインタビューシリーズの対象者について

- ・建設系は工学部でもユニークな分野で、他の学科との交流・会員間の交流も薄いうえ、
会員の活動情報が届きにくく、見落とされ勝ちである。
分会会員の中で、大活躍されている人を、発掘の上、積極的に紹介していくことを確認した。

(以

上)

鉾山・建設系分会 幹事会（令和3年度 第2回） 議事録（'21年 3/29作成）

- ・日 時：令和3年 3月27日（土） 10：30～11：20
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：総会等資料の送付作業、後の案内状送付、幹事顧問制度、幹事役割分担
- ・資 料：分会総会・春季講演会・東京支部講演会案内状および鳳龍クラブ賛助会員入会のお願い
- ・出席者：柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎（6名）

- 作業 1. 分会総会・講演会・懇親会および東京支部講演会案内の発送について
- ・上記案内状等81通を封書詰めの上、発送した。
 - ・幹事長より、後日、メールアドレス届者宛、メール配信する。
 - ・若手のメール会員には、Facebookも有効なので、竹林企画委員にお願いして、Facebook、”めいせんカフェ東京”でも発信をする。（真柴幹事長にお願いする）

議事 1. その他

1) 会員名簿の整備

- ・昨年の秋季講演会参加者や企業幹事の俵さん、日鉄環境エンジニアリングの松村さんなど会員名簿に記載の無い方がいたので、内容を確認の上、整備することを確認した。
- ・会員名簿には平成卒業者が少ないため、企業幹事等の伝手により増やしていくことを確認した。

(以 上)

- ・日 時：令和3年 6月12(土) 13:00～15:40
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ及びZoomによるリモート会議
- ・出席者：15名（別表に参加者を掲載）
- ・資 料：鉦山・建設系分会 2021年度 総会資料

分会長挨拶

- ・寺町先生のご講演、オンラインを含め参加者各位に謝意。
- ・コロナのワクチン接種も進んできているが、秋季講演会か来年の総会からは対面で実施できれば良いと考える。
- ・寄稿文『シリーズ：語り継ごう！技術は人なり』を進める。

1. 総 会 13:00～13:30

分会長が議長につき、別紙資料に基づき審議を進め、下記のように議決された。

議 事

- ① 令和2年度 活動報告および会計報告について
- ② 令和3年度 活動計画（案）および収支計画（案）について
- ③ 明専会終身会員について
- ④ 鳳龍クラブ賛助会員について
- ⑤ 総会等案内の郵送について
- ⑥ 明専会報 インタビューシリーズ：活躍する明専会員に聞く

議案1. 令和2年度 活動報告平及び会計報告・会計監査報告について
原案どおり承認された。質疑無し。

議案2. 令和3年度度 活動計画（案）及び収支計画（案）について
原案どおり承認された。質疑無し。

議案3. 明専会終身会員について
議長より制度の説明。質疑無し。

議案4. 鳳龍クラブ賛助会員について
議長より現状の説明。質疑無し。

議案5. 総会等案内の郵送について
議長より現状と対応の説明。質疑無し。

議案6. 明専会報 インタビューシリーズ：活躍する明専会員に聞く

鬼束先生、箭内様（化62）をインタビューア―とし、分会で事務局の対応を行った、学校法人関東学院 規矩理事長の記事の対応を説明。質疑無し。

2. 春季講演会 13:30～15:15

母校から寺町先生をお迎えして、「学科の近況と研究内容（歩車分離信号やラウンドアバウト）について」についてご講演をいただいた。講演の要旨は以下のとおりである。

- ・学科の近況として、退職(永瀬先生)を紹介いただく。
- ・近年の学科の活動はコロナの影響でほとんどできていないため、コロナ対応（遠隔講義）の紹介。また、入試の変更内容(AO入試)、就職状況などの紹介。
- ・交通関係の研究として、歩車分離信号（歩行者の不適切横断予測）やラウンドアバウト（環状交差点）の横断歩行者の安全性予測についての紹介。
- ・研究の専門性（交通）から行政の委員会に携わることが多いので、近年携わった委員会（国土交通省九州地方整備局「下関北九州道路」など）を紹介。

先生のご講演の後、真柴幹事長（設建H08）の進行で、質疑に入った。その内容は以下のとおり。

（質問）：信号の制御はどこが主管で対応しているか。

（回答）：各県の公安委員会、つまり、警察が主管で対応

（質問）：近傍のIC出入口付近で車の滞留が生じて危険な場面がある。ラウンドアバウトのように右側優先にすれば良いと考えるが、警察に申し立てをすればよいのか。

（回答）：自動車交通量は2017年をピークに減少しており、警察は渋滞解消より交通安全の確保を重視している。警察は安全確保の交通制御を行っているため、交差点での自動車の滞留も生じて運転者にとって好ましくない場面あるのは否定できない。質問のようなヒアリ・ハットのような話は交通管理者である警察でなく道路管理者に話をした方が良いと思うが、道路線形は、数々の制約の中で道路構造令のぎりぎりの範囲で決定していることが多く、改変するのは難しいと考える。

（質問）：制限速度より早い速度で走行した方が交差点での信号停止がないが、この信号制御に関してご存じであれば。

（回答）：信号は系統で繊細な制御していること、交通管理では優先する路線への考え方が道路管理者と異なる見解がある等、一概には言えないところがある。

（質問）：現在の大学の男女比率はどうか。男女での成績の差はどうか。

（回答）：建設系は他の学科に比べて高く2割近いが、今年度は3割を超えた。

正式な統計はないが、試験の成績は女性の方が良い傾向にあるものの、最近では女性の数も増えてきているので、成績の二極化もみられる。

（質問）：下関北九州道路は当初、関門橋の老朽化や交通容量が増えたために事業が必要と認識していたが、本日の説明だと広域道路の整備が目的に代わっているがその経緯はどうか。

（回答）：民主党時代に厳しい評価を受けた後、広域的な利用も事業の目的として加えるようにな

ったと聞いている。

(質問)：学生の研究室への志向について、過去はコンクリートや構造が強く、計画系は弱いと記憶しているが、現在の学生はどうか。

(回答)：設計コンサルへの志望もあり、計画系にも人気はある。計画系は道路予算が多いこともあって分野も広く人気はある。

(質問)：近年、建設業界ではDX、AI、ICTが流行しているが、大学での取り組みはどうか。教育における基礎分野も重要なため、やはり基礎分野の教育が中心になっているのか。

(回答)：学部の講義枠も減少し、必修科目ではやることができていない現状がある。3年以降の選択では入ってくるかもしれないが、全体では取り組みは薄いと考えている。研究室ではAI処理を取り入れたものもあるので個別の対応となっている。

情報系の方は技術の動きが早いですが、裏を返せば現在の技術がすぐに陳腐化することでもあり、教育では連想力を伸ばすことが必要と考え、講義で取り入れるようにしている。

4. 九工大技術士会説明 15：15～15：40

九工大技術士会 副会長 森 康 晴 氏 (開48卒) より九工大技術士会活動の説明が行われた。

現在、九工大、特に建設系の技術士の数が減少し、その状況を危惧している。九工大技術士会は無料で指導していくので、後輩を含めた周知と技術士会への参加の要望が出された。分会より、会員への周知の際に技術士会の活動に関する情報提供を申し入れた。

質疑の中で、技術士会に限らず同窓会への若手の参加への取り組みについての話題があった。

九州では建設系同窓会を設立し各卒業年で幹事を指名してはじめて多くの参加者がいるが、同じような取り組みを進めてはどうかという意見も出た。

分会も若手の参加を即すため、企業幹事を決め先輩を通じた働きかけを行っている。本日もそうだが、オンラインを併用したハイブリッドで参加機会を増やすなどの取り組みが必要であることを参加者で認識した。

5. 懇親会

- ・東京都の緊急事態宣言発出に伴い懇親会は中止とした。

(出席者名簿は次頁)

2021年度総会・春季講演会 出席者名簿（15名）

卒業年	お名前	備考	卒業年	お名前	備考
(鳳龍クラブ参加)			(Zoomによるオンライン参加)		
開 41	足立 二雄	幹事	—	寺町 賢一	講師
開 46	柿原 利孝	分会長	開 45	高宮 正英	
開 50	樋口 孝憲		開 45	安田 進	
開 51	小郷 政弘	会計	開 46	勝井 秀博	
開 62	岡田 光志	幹事	開 47	吉岡 民夫	
開 H01	江崎 純	幹事	開 48	森 康晴	技術士会
設 H08	真柴 浩	幹事長	開 49	三好 純一郎	
(以下、余白)			開 58	山口 省吾	

(以 上)

鉾山・建設系分会 幹事会（令和3年度 第3回） 議事録

- ・日 時：令和3年 6月12日（土） 15：40～16：00
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：次回以降の講演会の講師、寄稿文について
- ・出席者：柿原、真柴、足立、岡田（文責）、江崎（5名）

議事 1. 次回以降の講演会の講師について

- ・今年度の秋季講演会
東亜建設工業（株）井上様（開61）に打診中であり、後日、会長または幹事長より正式に依頼を行う。

議事 2. 寄稿文について

- ・第1回の寄稿者
西岡様（開41）にお願いするものとし、会長より正式に依頼を行う。
- ・テーマや掲載について
『シリーズ：語り継ごう！技術は人なり』とし、寄稿文の掲載は四半期に1回更新することを確認した。

（以

上）

鉾山・建設系分会 幹事会（令和3年度 第4回） 議事録（'21 7/24作成）

- ・日 時：令和 3年 7月 23日（金） 10：00～11：20
- ・場 所：Zoomによるリモート会議
- ・議 事：幹事長引継ぎ、秋季講演会について、来年度の春季・秋季講演会講師について
- ・資 料：鉾山・建設系分会幹事長引継ぎメモ（別紙1）

分会名簿210723.xls（別紙2）

東京支部Zoom接続説明書（別紙3，4）

- ・出席者：柿原、真柴、足立、小郷、岡田、江崎（6名）

議事1. 幹事長引継ぎ（別紙1～3）

- ・別紙1に従い、会社の人事異動により転勤される真柴幹事長と幹事長対応の引継ぎを行った。
- ・引継ぎの内容は以下のとおり。
 - ①会員名簿のフォローは別紙2参照。
 - ②分会活動記録のフォローは、継続して書記（岡田幹事）で対応
 - ③分会幹事会、案内送付作業の日程調整、鳳龍クラブ予約、食事手配
 - ④幹事会の議事運営
 - ⑤総会、春季・秋季講演会、懇親会の準備・運営
 - ⑥東京支部からの依頼への対応に関して、今年度中の運営委員会は真柴幹事長に対応いただく。
 - ⑦代議員（定時社員総会への出席）は、真柴幹事長に残り任期（1年超）を対応いただく。
 - ⑧分会会員への情報発信等の対応

→2020年度の秋季講演会は安田先生が講師のためメール・葉書の返信総数が70名と多かった。

参加を促すためには影響力のある方の参加や幹事からの働きが必要であることを確認した。

- ⑨明専会Zoomの利用方法は別紙3，4参照。

- ・当面は柿原会長を中心として幹事で分担して対応すると共に、打診を行った方を含めて幹事の増員を進める。

議事2. 秋季講演会について

- ・今年度の秋季講演会については講演を依頼している東亜建設工業株式会社 井上様（開61）への確認、11月6日（土）を中心とした鳳龍クラブ会場確保は岡田幹事が対応する。

議事 3. 来年度の春季及び秋季講演会の講師について

- ・ 春季講演会の講師は、九工大の先生から環境デザイン研究室の伊東先生（又は須藤助教）、あるいは、安田先生にご紹介いただく卒業生の大学の先生を候補として検討する。
- ・ 秋季講演会の講師は、先に発行された明専会報7・8月号の規矩理事長のインタビューシリーズを題材に、関係者（インタビューアーの鬼東先生、箭内様）を交えたものを検討する。

(以 上)

鉦山・建設系分会 幹事会（令和3年度 第5回） 議事録（'21年 9/19作成）

- ・日 時：令和3年 9月18日（土） 13：00～14：00
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：秋季講演会等の案内状送付、秋季講演会の対応
- ・資 料：秋季講演会・東京支部講演会案内状等
- ・出席者：柿原、岡田、江崎（3名）

- 作業 1. 秋季講演会・懇親会および東京支部講演会案内、『シリーズ：語り継ごう！技術は人なり』の趣意書発送について
- ・上記案内状等85通を封書詰めの上、発送した。
 - ・柿原会長より、ZOOMによる参加者には後日、メールアドレス届者宛、ZOOM招待メール配信する。
 - ・分会で使用している文章の中で、真柴幹事長の変更部分を修正する。

議事 1. その他

- 1) 秋季講演会の対応について
- ・秋季講演会の懇親会を始め、直前に開催内容を協議することを確認した。

(以 上)

- ・日 時：令和3年 11月 6日（土） 12：40～13：10
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ
- ・議 事：春季講演会の対応 他
- ・資 料：なし
- ・出席者：柿原、小郷、岡田、江崎（4名）

議事 1. 春季講演会の対応

1) 春季講演会の対応について

- ・講演会への参加者拡大のため、学生へオンライン参加を働きかけることを確認した。
- ・柿原会長より、鬼東先生に打診し話を進めることを確認した。
- ・学生が参加する場合、内容を柔らかいものにしないと理解が得られないこと、参加者が多いと話をする機会が得られないため小グループでの討論の開催等、進め方について議論した。
- ・最近、参加者が減少傾向にあるため、関係者への働きかけを行うことを確認した。

2) 令和4年度の総会・春季講演会

- ・会長より、支部内の調整により6月11日（土）になることが報告された。

議事 2. その他

- ・東京支部で分会記録等のアーカイブ化委員会が活動を行っているとのこと（小郷幹事より報告）
- ・寄稿文『シリーズ：語り継ごう！技術は人なり』の第2回目（加藤様）について、原稿と合わせ次回寄稿者の紹介の確認することを確認した。
- ・支部より幹事長の選任の要請があり、岡田幹事で登録することを確認した。

（以 上）

2021年度 鉾山・建設系分会 秋季講演会 議事録 (21年 11/8作成)

- ・日 時：令和3年 11月 6日(土) 13:30～15:00
- ・場 所：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ及びZoomによるリモート開催
- ・出席者：明専会東京センター／九州工大鳳龍クラブ9名 Web参加 5名 計 14名
- ・資 料：無し

分会長挨拶

- ・本日の講演会は、東亜建設工業の井上様に港湾工事をテーマにご講演をいただく。
- ・本日は、新型コロナウイルス感染予防のため、リモートを併用しての開催である。
- ・最近の講演会は、参加者が減少しているので知り合いへの働きかけを含めて、協力をいただきたく。

1. 秋季講演会 13:30～15:00

演題：演 題：港湾土木工事の特徴と根入れ式鋼板セル工法の紹介

講 師：東亜建設工業(株) 土木事業本部 設計部 井上 博士 氏 (開61)

講演の概要は以下のとおりである。

- ・港湾における土木施設には、航路や泊地などの水域施設、防波堤や護岸などの外郭施設、岸壁や栈橋などの係留施設、道路や橋梁などの臨港交通施設等も含まれるが、湾関係者が主な利用者であり、一般の人にはあまり馴染みがないが、我が国の物流の要であり重要な役割を担っている。
- ・港湾施設や作業船等を活用する港湾土木工事の概要と、最近、大水深のコンテナ岸壁で用いられた根入れ式鋼板セル工法を紹介する。
- ・これを機会に港湾土木に少しでも関心を持っていただければ幸いである。

講演終了後に質疑に入った。その内容は以下のとおり。

(質問)：港湾工事の計画・設計・施工において、民間業者の関わりは。

(回答)：港湾計画、調査、設計、施工と段階を追って事業が進められる。事業主体は国、港湾管理者である地方自治体であり、民間業者は各段階で請負ながら対応している。

(質問)：港湾工事は天候に左右され施工が困難なように思えるが、赤字工事にはならないのか。

(回答)：港湾土木工事請負積算基準が整備されそれに基づき契約が行われるため、基本的には赤字工事にならない。

(質問)：南本牧の工法比較表で、工法間の費用の差はあるのか。

(回答)：工法間の費用差は2割程度で大きな差はない。工程や構造性能(耐震性)で最終的には

決定される。

(質問) : 港湾工事において測量はどのように行われているか。施工精度はどの程度か。

(回答) : 測量は陸上と変わらず、最近はG N S Sを使用して行っている。気中は陸上と変わらない精度で測量や施工は可能だが、水中の測量は音波を使用したものに依存せざるをえず、現状、水中測位で気中なみの高い精度ものが無く技術開発が必要な分野である。陸上の施工精度がc m単位に対して港湾土木は1 0 c m単位になる。

(質問) : 鋼板セルの胴板の曲げ方はどうするのか。

(回答) : この工事の胴板の板厚は1 7 mmだが、スライドで説明したとおり、面積が広いため、自重で簡単に曲がるため、曲率を合わせた加工台に載せれば所定の曲率になる。板だけだと形状が保持されないため、リブ等の補強材を取り付けて対応している。

(質問) : これだけ構造物が大きいとアークの設置が難しいのではないか。

(回答) : 鋼板セルは所定の位置に据え付けることができるが、中詰めを入れると変形して真円を保つことができない。アークを据え付ける前に、セルにある継手を測量して、アークの補強材を調整して設置している。

(質問) : 鋼製の構造物であるが、腐食はどれだけ考慮しているのか。孔が開くことはないのか。

(回答) : 水中部分は電気防食で、潮位の変動や飛沫のかかるところはコンクリートで被覆して対応している。電気防食は損失を考慮して計算上、片面1 mmの腐食代は考慮されている。これらの対策は維持管理を行うため、孔が開くことは基本的に無いものの、船舶の衝突で損傷した場合は、鋼板の溶接やモルタル等で補修を行う予定。

(質問) : この岸壁の耐用年数は。

(回答) : 設計上は5 0年となっているが、維持管理をしながらそれ以上、使用していることが多い。

(質問) : 港湾工事でI C Tやロボット化などの取り組みはあるのか。

(回答) : 水中バックホウの遠隔操作や、自走式の捨石均し機の実証、電気制御のグラブ浚渫船でグラブ操作をA Iで学習させるという取り組みも行われている。水中での制約も多いため、技術的課題も山積している。

(質問) : カーボンニュートラルにおいて港湾工事ではどのような取り組みが行われているか。

(回答) : 作業船や施工機械のC O 2排出量について、現在、調査して整理をする段階である。他の土木工事と同様に使用材料を含めての取り組みになると考える。

(質問) : 沖縄の方で軽石漂流が問題になっているが何か対応しているのか。

(回答) : 問い合わせがあったが、軽石が浮遊しているのでポンプで吸込んで回収するのは難しく、ニュースで出ているように、バックホウで回収せざるを得ない。



講演会参加者（上段 Zoom 参加者 5 名、下段 鳳龍クラブ参加者 9 名）

（以 上）

2. 懇親会

- ・新型コロナウイルス感染症対策として懇親会は中止とした。

2021年度秋季講演会 出席者名簿（計 14名）

卒業年	お名前	備考	卒業年	お名前	備考
(鳳龍クラブ参加) 9名			(Zoomによるオンライン参加) 5名		
開 61	井上 博士	講師	開 45	安田 進	
開 46	小川 皓		開 46	勝井 秀博	
開 46	柿原 利孝	分会長	開 49	三好 純一郎	
開 47	吉岡 民夫		設 H09	黒石 真一	
開 50	樋口 孝憲		設 H25	岩本 浩明	
開 51	小郷 政弘	会計	(以下、余白)		
開 58	山口 省吾				
開 62	岡田 光志	(新)幹事長			
開 H01	江崎 純	幹事			
(以下、余白)					

(以 上)

【分会は、下記の者でお世話いたしております。】

●分会役員名簿

分会長	柿原利之	(開46)	本部代議員
幹事長(兼)	岡田光志	(開62)	本部代議員
幹事	足立二雄	(開41)	
同(会計担当)	小郷政弘	(開51)	
同(書記担当)	岡田光志	(開62)	本部代議員
同(HP担当)	江崎純	(開H01)	
同	幸田英司	(建社H16)	

幹事若干名の増員を検討中です。

特に、平成年代、建築学コース卒の方の自薦・他薦を求めています。

●お問い合わせ・連絡先

分会へのご要望、お問い合わせ、行事へのご参加申し込み等は下記へお寄せください。

《ご連絡先》 新幹事長 岡田 光志 (開62) 令和3年9月1日より

メールアドレス : ko_okada@toa-const.co.jp